



柳ヶ瀬エリア プラットフォーム Vision Meeting Report #3

#1 7.15.Wed./ #2 8.19.Wed./ #3 9.16.Wed./ #4 10.7.Wed./ #5 11.4.Wed./ #6 12.2.Wed.

ビジョンミーティングとは

エリプラに関わる全ての人、事業者が参加できる広く開かれた場とし、事業会議での意見や取り組みを共有し、その他の専門的な事項も含めビジョンの方針、盛り込む内容を議論します。議論を深めつつ進めるため、各回の議題や論点は戦略検討委員会で整理し、提案します。ここでの議論の内容を取りまとめ、推進会議を経て、柳ヶ瀬エリアのビジョンを策定します。

当日のプログラム

第3回ビジョンミーティング 開催概要

日 時：2026年9月16日（水）19：00～21：00
会 場：ウゴクテ
参加者：41名
テーマ：第1部 各要素のあるべき姿と現状の共有
第2部 骨子とする内容の検討



第1部：各要素のあるべき姿と現状の共有	第2部：骨子とする内容の検討
19：00 前回の振り返り 19：05 構成要素のバックデータの整理 19：15 事業部会での取組紹介	19：40 今回の議論のポイントのご説明 「エリアの空間的な特性、可能性の共有」 20：00 グループ議論「3つのエリアと3つの軸」 20：30 全体共有 20：40 アドバイザーの方からのコメント

エリアビジョン策定の進め方（予定）

柳ヶ瀬エリアのビジョンは以下の流れで広く多様な方々との議論を積み重ね、9月末には骨子を、12月には本編を取りまとめる予定で取り組んでいきます。

第1回 7/15水	> エリアビジョンの意義の共有 ・検討の前提についての認識共有 ・これまでのビジョンの経緯と概要	第4回 10/ 7水	> 個別テーマの具体的な検討 ・各要素の基本方針の検討 ・各要素の取り組み内容の検討
第2回 8/19水	> ビジョンの構成案の検討 ・エリアとして大切にしたいこと ・柳ヶ瀬が目指す姿のイメージ共有	第5回 11/4水	> ビジョンの本編案の検討 ・各要素の取り組み内容の検討 ・取り組みの仕組みと体制の検討
第3回 9/16水	> ビジョンの骨子案の検討 ・目指す姿を構成する要素の共有 ・各要素のあるべき姿と現状の共有	第6回 12/2水	> ビジョンの本編案の検討 ・取り組みの仕組みと体制の検討 ・取り組みのステップの検討
ビジョン骨子 完成		ビジョン本編 完成	

次回予告

#4

柳ヶ瀬エリア
プラットフォーム
ビジョン
ミーティング

日 時：2026年10月7日（水）19：00～21：00
会 場：ロイヤル劇場ビル3階ホールB
テーマ：各要素の基本方針、取り組み内容の検討

各

要素のあるべき姿と現状の共有

〈柳ヶ瀬らしさとその構成要素の更新〉

第1部では、第2回までのビジョンミーティングでいただいた参加者の皆さんのご意見をもとに、「柳ヶ瀬らしさ」の骨格と「らしさの構成要素」の一部をアップデートし(右図のピンク色の箇所)、その内容を参加者の皆さんと共有しました。

〈裏付けを用いた各構成要素の現状の共有〉

あわせて、「らしさの構成要素」の裏付けとなる各種統計資料・調査結果を用いて、各要素のあるべき姿と現状についても共有しました。今後は、感覚的な議論だけでなく、根拠となる調査結果も整理しながらビジョン策定を進めていきます。

事

業部会での取組紹介

さらに第1部では、これまで事業部会で議論を重ねてきた事業会員による取組（社会実験）のうち、開催日等がすでに決定しているものについて、当日ご参加いただいた事業会員の皆さんから参加者の皆さんへご紹介いただきました。ぜひ、それぞれの開催場所へ足をお運びください。



工

リアの空間特性と都市機能の可能性

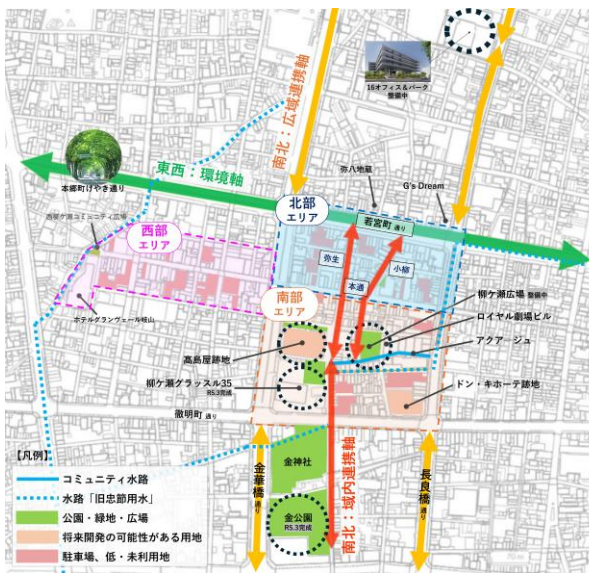
第2部では、柳ヶ瀬エリアの空間的な特性と可能性について、エリア内の空間の現状や他都市の事例の紹介も交えながら参加者の皆さんと共有しました。その後、「3つのエリア」と「3つの軸」という大きな整理を抛り所に、これまでの議論してきた6つの「柳ヶ瀬らしさの構成要素」を当てはめながら、エリアの空間特性と都市機能の可能性を広げるための議論を行いました。

< 3つのエリアについて議論の中であがった主な意見 >

- 北部エリア：落ち着いた雰囲気を活かし、夜に食とお酒を楽しめるエリアとしてブランドを育てていくのがよい。
- 南部エリア：空が見える開放的な広場や水辺を活かして、子ども連れが1日ゆったり過ごせるエリアになるとよい。
- 西部エリア：若い世代に響くカルチャーや表現が集まり、昼も「良い怪しさ」を楽しめる場所にしていくとよい。

< 3つの軸について議論の中であがった主な意見 >

- 広域連携軸(南北)：文化財を活かしたにぎわい形成と、昼は柳ヶ瀬、夜は北部や玉宮へ回遊できる軸にするとよい。
- 環境軸(東西)：遠くまで抜ける視線とかつての並木道の記憶を活かし、新しい形で緑を取り戻していくのがよい。
- 域内連携軸(南北)：歩きたくなる「水のネットワーク」として金公園と商店街をつなぐとよい。



「3つのエリア」
北部：水と緑が惹きつける新たな暮らし・観光のシーン ・岐阜提灯、緑、水を活用した昼夜歩いて楽しいまちへ ・柳ヶ瀬内に一定の人口を確保するため、商業用途以外の「住まい」や「暮らし」の要素を検討（2階以上）
南部：子育て・交流の安心拠点 ・子育て世帯が安心安全に楽しめるまち ○柳ヶ瀬広場 ○金公園 ○ドン・キホーテ跡地 ○ツナグテ・ウゴクテ・Gテラス ○高島屋跡地
西部：多様な表現活動とナイトタイムエコノミー ・飲食、アート、エンタメなどの健全な夜の経済活動 ・多様な表現者が集まるまちへ
「3つの軸」
南北：広域連携軸 ・中心市街地のセンターゾーンにおける3つのエリアを繋ぐ軸 ・長良橋通り、金華橋通りを軸に広域での機能連携、回遊性の向上を図る
東西：環境軸 ・榊森神社の参道としての歴史、役割を顕在化し、本郷町けやき通りとの連続性がある環境軸
南北：域内連携軸 ・金公園、グラスル35、柳ヶ瀬広場、アクアージュ、若宮町通りを繋ぐ、エリア内の活動連携の軸

